

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年8月30日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 葉月 August 第14号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について】

3年生対象に、令和5年4月18日(火)に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果について、伊丹市の速報は、伊丹市立総合教育センターのHPにて8月3日に発表されています。荒中だよりでは、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動のひとつの側面です。調査内容は以下(1)(2)です。なお(1)については、教科担当者からの分析と今後の取り組みについてです。3教科に共通していることは、無解答率が相対的に低く、粘り強く最後まで諦めないで取り組む姿勢が全国平均、伊丹市平均を大きく上回っていました。

(1) 学力に関する調査 (国語・数学・英語)

国語

本校の平均正答率は、全国平均とほぼ同等でした。特に、思考・判断・表現力の分野においては、全国平均を上回り、身についていると言えます。また、選択式の発問に比べ、記述式の発問の正答率が高い傾向にあります。これは、1年次より自分の思いや考えを相手に伝える事、作文などを通じて書くことを指導したことと、コミュニケーショントレーニングにおいて、話す・聞く・書くことの訓練をしてきたことによるものと考えられます。今後は、これらの取り組みを継続すると共に、課題である知識・技能の範囲を伸ばすために演習を行うようにしていきます。

数学

本校の平均正答率は、全国平均とほぼ同等でした。数と式では、正答率が高かったです。とくに、自然数を見分ける問題については全国平均よりとても高かったです。反対に、関数と図形の分野での正答率が低かったです。今後、関数のグラフ、表、式の関係について理解できるようにし、グラフからいろいろなことが読み取れるような指導を行っていきます。また、図形の分野では、図形の定義や性質について、図による理解だけでなく、文章で表現できるように指導を心がけていきたいと考えています。

英語

本校の平均正答率は、全国平均をやや下まわりました。改善策として、聞き取り問題に慣れるために、その場面や状況を明確にして、何を聞き取るべきなのか示すこと。入試のためにも問題文を1回で聞き取る練習を行っていきます。また、音読活動を増やし、正しい英語の発音やイントネーションを定着させていきます。授業の振り返りでは、実践的な問題に慣れていくために、その日行った内容を問題形式で確認していきます。長文問題においては、情報を整理し、正しく選択する力が足りていないことがわかりました。例えば、まとまった英文を読み、答えとなる絵や図を答えるという問題や、メールの内容として最も適切なものを選択する問題を苦手としています。今後はただ英単語を覚え、長文を読むだけではなく、段落ごとにどのようなことが書かれているのかを、相手に伝えるなどの練習を重ねていきます。

(2) 学習状況に関する調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活面等)について

★印の項目は、「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた数字、無印は「当てはまる」だけの数字になっています。また、▲印は、全国平均より低い数値(%)を表しています。

質問事項	本校	全国	全国との差
★朝食を毎日食べている	90.0	91.2	▲1.2
★毎日、同じくらいの時刻に寝ている	76.0	78.0	▲2.0
★毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.7	91.3	1.4
★自分には、よいところがあると思いますか	90.5	80.0	10.5
★将来の夢や目標を持っている	75.4	66.3	9.1
★人が困っているときは、進んで助けていますか	93.3	88.1	5.2
★いじめは、どんな理由があってもいけない	96.6	95.5	1.1
★人の役に立つ人間になりたい	96.1	94.6	1.9
★学校に行くのは楽しいと思いますか	83.8	81.8	1.5
★友達関係に満足していますか	92.2	88.7	3.5
★普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.1	86.8	5.3
★家で、自分で計画を立てて勉強している	40.2	55.0	▲14.8
1, 2年生の授業でICT機器をどの程度使用したか(毎日～週3日)	92.1	61.1	40.2
★1, 2年生の授業で課題解決にむけて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.7	79.2	▲1.5
★学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、ひろげたりすることができていますか	86.0	79.7	6.3

自分の良さを認識し、将来に夢や目標をもって、可能性をどんどん広げていこうという3年生の前向きな姿勢がみられました。また、困っている人に対して自分にできることを考え、行動できる良さは、誇りです。そんな荒中生が、義務教育を終えて自分の人生を自分で選んで生きていくためには、目指す進路をつかむための学力が必要です。1日3時間の自主的な家庭学習を継続的に続けることから始めましょう。

